

令和8年度予算、子育て・教育に力

鎌倉市の令和8年度一般会計予算(約860億円)は、3年連続で過去最大規模になりました。「こどもまんなか社会」の実現を目指すというだけに、子育て教育予算(約104億円で32.8%の伸び)に力が入っています。

子育て・教育は私のテーマ

私は21年前に鎌倉市議に就任して以来、議長職を務めた2年を除いてすべての年に「教育福祉常任委員会」委員を務めてきました。小学校への警備員配置、中学校給食実施を始め、いじめ防止など様々な課題を提案、実現して参りました。それだけに来年度の予算に期待を持っています。例えば

- この4月から無償化となる小学校給食費。月約5,900円のうち5,200円を国が支援、約700円を市が補助。

- 第2子の保育料完全無償化。令和8年9月以降、これまでの各種制限を撤廃し約4,000万円の歳入減。
- 産前産後の支援拡充。妊婦さんの健康づくりを応援、あるいは産後ケアとして約6,200万円を予算化。
- 妊婦さん通院にオンデマンドバス。4月から市内の産院は湘南鎌倉総合病院のみ。通院に利用地拡大支援。

以上のようなソフト案件と共に、小中学校の修理、改築などに大きく予算を組んでいます。「共育のまち、鎌倉をつくろう」をスローガンにしている私も、令和8年度の予算には大きく期待しているところです。



教育福祉常任委員会

前川あやこの活動は
ブログ「いやさか通信」
Facebook、Instagramを
ご覧ください。



いやさか通信



Facebook



Instagram

ブログ「いやさか通信」から

晴天の3/11、二中卒業式



この日に卒業を迎えたのは震災の年に生まれた生徒たち。保護者の方々とともに震災後の様々な困難を経験。御多幸を祈ります(3/11)。

22年間続いています



2004年から始まった腰越中学校おやじの会による学校のペンキ塗り。私は当時のPTAつながりで翌年から毎年参加。愛する絆です(3/6)。

登壇して委員長報告



2月議会最終日、教育福祉常任委員会委員長として審議結果が出された2つの案の結果報告。いずれも総員可決となりました(3/5)。

大町釈迦堂口遺跡を見学



浄明寺町内会から16名が参加。まだ切り通しが抜けられないので宝戒寺隧道を通り約1時間。多数のやぐらや五輪塔が建つ大きな遺跡でした(2/28)。

心に沁みる男声合唱



「鎌倉男性合唱団 牧神(バン)」。いつも素晴らしい演奏ですが今回も感動の連続。全曲アカペラで暗譜。最後は天国へ逝った友への思いを込めて幕(2/22)。

浄明寺熊野神社豆まき



町内会青年部主催の豆まき、今年は2回目だが、100段の石段を上がり130名近くの地元の方々が参加。地域の歴史や絆が続きます(2/15)。

前川あやこのホームページからブログ「いやさか通信」をご覧ください。
<http://www.maekawa-ayako.net>

共育のまち、鎌倉をつくろう



春は林野火災が多い季節。明るい陽ざしで炎が見えにくいとも言われます。「ハイキングコースの火の不始末が心配」との市民のご意見から、「火気厳禁」を警告するプレートが観光課が設置。1/1から「林野火災注意報・林野火災警報」の運用も始まりました(2026,02,12)。



前川あやこ

無所属 鎌倉市議会議員6期

2005年初当選 夢みらい鎌倉

教育福祉常任委員会委員長

議会運営委員会委員

レポート

NO.91

2026,03発行

2026年2・3月議会からのご報告

- 1 令和8年度予算、子育て・教育に力
- 2 「夢みらい鎌倉」会派代表質問から



WEBサイト

討議資料

【発行】前川あやこ 【住所】〒248-0003 鎌倉市浄明寺2-10-8
【TEL / FAX】0467-23-0964 【E-mail】info@maekawa-ayako.net
【前川あやこ履歴】1960年鎌倉市二階堂生まれ、聖心の園幼稚園
第二小・中学校、聖園女学院、日本大学。

災害・犯罪から市民を守る

●津波避難建築物の確保と規制緩和

津波浸水想定区域内の建物は、民間の建物でも外階段をつけるなどの調整を行っている。また高さ制限など条例の規制緩和は課題を抽出し、補助金制度なども含めて取り組んでいく。

●雪ノ下に統合される鎌倉消防署の跡地について

津波避難対象建物とするよう検討を進めている。また第一小学校も防災面にも配慮したものとなるよう検討している。

●犯罪抑止力向上のため

防犯カメラの設置が重要と思うが

防犯カメラの重要性は十分認識しており、自治会等地域での設置には補助をすると共に、補助金制度の周知を図っていく。市独自の防犯カメラも、令和8年度には北鎌倉駅東口付近に新たに設置する。

●自主防災組織への支援強化をどう図っていくか

防災訓練、防災講話、機材整備などを支援しているが、地域差があることから、各地域のリーダーの育成、地域同士の連携などに取り組み、より実践的な避難訓練に力を入れたい。

●ペット同行避難への取り組みは

その避難所が通常は何に使用されているかということもあり、室内までペットを同伴できる避難所は現在まだ確保されていない。飼い主の啓発も行っていく。

「夢みらい鎌倉」 会派代表質問から

代表質問の全体は8項目36問の多岐にわたりますが、ここではその一部をご紹介します。
答弁はすべて市長です。

インフラ・公共施設の確実な更新

●バス便の減便で困っているが

交通インフラの要であるバス便の維持や増便のためには、赤字路線に対する補助金などではなく、運転手の採用支援などの方法を検討している。

●大船駅東口自転車等駐車場の整備は

電動アシスト車や子どもシート付き自転車など、平置きスペースを確保すると共に、駐輪マスの大型化など、誰もが使いやすい駐輪場を目指して整備していく。

●JR鎌倉駅東口前

ドラッグストアの著しく目立つ広告について

大きさや設置場所ではなく、イメージについての規制は難しい。しかしこれまでの景観計画に基づいた実績や他店舗の協力、若宮通りや小町通りの条例を参考として整備していく。

●深沢は未来型とともに鎌倉らしい開発を

グリーン・イノベーションをコンセプトにグリーンインフラの充実、脱炭素化など環境に配慮したまちづくりを計画。同時に歴史を活かした深沢らしいまちとしたい。

鎌倉地域 漁業支援施設の整備

令和7年度に着工した同施設の整備は、防波堤工事を引き続き進めると共に、今年度は新たに護岸工事に着手します。



オーバーツーリズムから市民を守る

●マナー条例やポイ捨て条例は罰則を伴わないと効果がないが

マナー条例は長野県白馬村で令和8年度から罰則を導入すると聞いている。大分県由布市は令和7年にポイ捨て条例に罰則規定をつけたと聞いている。鎌倉市も実効性の高い方法を整備していく。

●観光客集中地域の有料トイレをどのように整備していくか

ビルの所有者等と検討しつつ場所を探しており、さらに有人化や清掃の仕方等も検討している。

●長谷駅周辺の歩行者の安全対策 神奈川県との連携は

県道であり県が対応するが、現地状況の把握や周辺住民の意見を聞くなど情報の収集に努め、県と連携していく。

●鎌倉高校前踏切の秩序維持対策は

誘導員の配置などはこれまで通り続けるが、さらに外国人インフルエンサーの活用を図り、外国語での情報発信に努める。

鶴岡八幡宮内公衆トイレを常駐清掃

オーバーツーリズム対策として、境内の公衆トイレ2か所に毎日11時～15時の間清掃員が常駐し、双方を行き来して清掃を行います。



鎌倉市民泊ガイドライン策定

神奈川県の民泊は昨年12月末で474件、その3分の1超の169件が鎌倉市に集中。町内会や住民から不安、怒りの声が多い。「市民から民泊が歓迎される状況になっていない。事業者が開業前に地域や自治会と関係性を持つように求めた」として鎌倉市は独自の民泊ガイドラインを策定した。また懸案の宿泊税は、2027年10月からの課税（民泊も含む）を目処に準備中です。



4月から！ 燃やすゴミ個別収集を全戸開始

クリーンステーション収集に伴う様々な負担を軽減し、さらなるゴミの減量化を期待して全戸個別収集に。詳しくは市が2月末に配布した「資源物とごみの分け方・出し方」パンフをご参考に。

